

東日本大震災から2年

東日本大震災から2年が経ちました。私たちにとって忘れられない、忘れてはならない、大変な悲劇でした。いつ発生するか分からない大地震、突然巻き込まれてしまう災害に対して、あなたの備えは万全でしょうか？

今月は地震発生から避難まで、時間経過とともにするべきことを、10のポイントにまとめましたので、参考にしてください。

■地震発生! そのとき何する10のポイント

【地震発生】

- 1 揺れを感じたり緊急地震速報を受けたりしたときは、直ちにテーブルやいすの下にもぐり身を守る。

【地震発生直後】

- 2 落ち着いて火の元を確認し、出火した場合は初期消火を行う。
- 3 落ちてきた瓦や飛散したガラスなどで怪我をする可能性があるので、あわてて外に飛び出さない。

- 4 窓や戸を開け、避難できる出口を確保する。

【地震発生後の行動】

- 5 避難する前に必ず、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める。

- 6 屋外へ避難するとき、不用意にブロック塀に近づかない。

- 7 避難途中、近隣の人に声を掛け、安否を確認する。

- 8 地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら避難場所へ避難する。

- 9 テレビ、ラジオや消防署の防災行政無線などから正しい情報を得る。

- 10 倒壊家屋や家具の下敷きになった人を、協力して救出・救護する。

春季全国
火災予防運動

消すまでは 出ない行かない 離れない

平成24年度全国統一標語

3月1日(金)から3月7日(木)まで、春の全国火災予防運動が実施されます。

住宅防火 いのちを守る 「3つの習慣・4つの対策」

■3つの習慣

- ①寝タバコは、絶対にやめましょう
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使いましょう
- ③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう

■4つの対策

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置しましょう
- ②寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使いましょう
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置しましょう
- ④お年寄りや身体不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくりましょう

これを機に、火災の恐ろしさを再認識し、火災から、「生命」「身体」「財産」を守るための効果的な対策を立てましょう。